

研究ユニット一覧

	主任研究者	国籍	ユニット名
1	銅谷賢治博士	日本	神経計算ユニット
2	柳田充弘博士	日本	G0 細胞ユニット
3	シドニー・ブレナー博士	イギリス	分子遺伝学ユニット
4	丸山一郎博士	日本	情報処理生物学ユニット
5	内藤隆之博士	日本	分子神経科学ユニット
6	ロバート・シンクレア博士	オーストラリア	数理生物学ユニット
7	政井一郎博士	日本	神経発生ユニット
8	クラウス・シュティエフェル博士	オーストリア	理論・実験神経生物学ユニット
9	ジェフ・ウィッケンス博士	ニュージーランド	神経生物学研究ユニット
10	ゲイル・トリップ博士	ニュージーランド	発達神経生物学ユニット
11	ゴードン・アーバスノット博士	イギリス	行動の脳機構ユニット
12	エリック・デ・シュッター博士	ベルギー	計算脳科学ユニット
13	ファデル・サマテ博士	フランス	細胞膜通過輸送研究ユニット
14	高橋智幸博士	日本	細胞分子シナプス機能ユニット
15	メリー・アン・ブライス博士	アメリカ	発生分化シグナル研究ユニット
16	佐藤矩行博士	日本	マリンゲノミックスユニット
17	ジョナサン・ミラー博士	アメリカ	物理生物学ユニット
18	ホルガー・イエンケコダマ博士 *	ドイツ	進化システム生物学ユニット
19	北野宏明博士	日本	オープンバイオロジーユニット
20	アレクサンダー・ミケエブ博士 *	アメリカ	生態・進化学ユニット
21	御手洗哲司博士 *	日本	海洋生態物理学ユニット
22	ウルフ・スコグランド博士	スウェーデン	構造細胞生物学ユニット

* 若手代表研究者

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

の 18~22 の研究ユニットは、平成 21 年度に新設

共同研究契約一覧

番号	相手方
1	国立大学法人琉球大学
2	独立行政法人理化学研究所
3	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
4	国立大学法人京都大学
5	(株)国際電気通信基礎技術研究所
6	国内自動車メーカー基礎研究所
7	国内自動車メーカー研究所
8	国内自動車メーカー基礎研究所
9	国立大学法人京都大学
10	国立大学法人広島大学
11	学校法人久留米大学
12	学校法人日本医科大学
13	国立大学法人大阪大学
14	学校法人慶応大学
15	オタワ大学
16	オタゴ大学
17	国立大学法人新潟大学
18	国立大学法人琉球大学
19	国内半導体関連会社
20	リオデジャネイロ大学
21	INSTITUTE OF MOLECULAR AND CELL BIOLOGY
22	国立大学法人東京工業大学

受託研究契約一覧

番号	件名	委託者
1	分裂酵母におけるメタボロームの基礎技術の開発	科学技術振興機構
2	生物系科学分野に関する学術振興方策及び学術動向の調査研究	日本学術振興機構
3	シンカイヒバリガイ <i>Bathymodiolus azoricus</i> のゲノム科学的解析: 化学合成細菌共生と極限環境応答のメカニズムの解明	科学技術振興機構

ブレナー博士(分子遺伝学ユニット)に対する研究評価について

1. 評価基準

ブレナー博士(分子遺伝学ユニット)は、次の観点から評価が行われた。

- (1) 研究課題の影響の大きさ
- (2) 研究課題を解決するための手法の選択
- (3) 達成した研究成果
- (4) 世界の他の研究機関で行われている研究と比較した独自性
- (5) 世界の他の研究機関との適切な連携関係の構築
- (6) 機構及びその周辺地域における研究能力の向上及び研究資源の構築

※ 評価基準は、代表研究者に対する研究評価ごとに設置される研究評価会において決めることとなっており、ある基準が他の基準より重視される場合がある。

2. ブレナー博士の活動内容

(研究内容)

- ・ サラマンダーの神経細胞における遺伝子の発現の解析
- ・ タコのゲノム解析
- ・ ヤツメウナギのゲノム解析

※1 2008年には、多数の研究者が利用できるリソースとして、機構内にシーケンシングの技術センターを整備するため、自らの研究ユニットのリソースを転用した。その後、当該施設は、佐藤博士によるサンゴの研究に活用されている他、柳田博士、ミケブ博士、サマテ博士等により、広く活用されている。

※2 機構は、ブレナー博士の指導の下、カリフォルニア大学サンタクルーズ校におけるゲノム10Kプロジェクトに関して、共同研究の合意を結んでいる。このプロジェクトは1万種の動物のゲノムの解析を行うという国際的な取組である。機構は、北京ゲノム研究所とともに、予備的研究に参加する予定である。

3. 評価理由

研究評価においてブレナー博士が高い評価を受けた主な理由は次のとおり。

- (1) サラマンダープロジェクトは独創的であり、特に神経系や他の組織における細胞の特異性に関する遺伝子制御の基本的理解に大きく貢献する重要な科学のイニシアティブである。サラマンダーをモデル生物として発展させる研究は、線虫の研究が英国ケンブリッジ大の分子生物学研究所にて加速されたように、こうした種の生物の研究の核となり得る。また、タコやヤツメウナギの研究も、高等動物の進化を理解する上で鍵となる研究である。
- (2) ブレナーユニットを通して機構においてゲノム解析を確立し実施することは機構の共有の研究リソースに大きく貢献している。ブレナーユニットによって達成されたシーケンシング技術の発展及びシーケンシングの成果は今後の研究の重要な基盤を提供するものである。また、機構は、近隣の研究所にある沖縄県関連の次世代シーケンシング施設とも連携しており、地元の専門家らの支援や研究強化に資する機会も提供されている。

※ 内藤博士(分子神経科学ユニット)は、同じ評価委員会により、基本的には同様の基準によって評価を受けたが、同博士は、ブレナー博士とは別に、自分自身の複数のプロジェクトを実施しており、評価対象となった活動実績も異なっている。

代表研究者及び若手代表研究者 選考基準

代表研究者の選考基準

1. 卓越した研究能力を有すること
2. 博士号または同等の学位を有すること
3. 大学院レベルでの、質の高い教育実績を有すること
4. 大学院生の指導における優れた実績を有すること
5. 研究、教育、カリキュラムの策定及びその他の関連活動における、指導力を発揮した実績を有すること
6. 外部研究資金を獲得する能力を有すること
7. 特許の取得や起業の能力を有すること
8. 同僚、学生等、周りの人と協調し、有効な関係を維持する能力を有すること
これには若手スタッフの育成を含む
9. 他の研究グループと積極的に交流し協調する意欲を有すること

若手代表研究者の選考基準

1. 卓越した研究能力を有すること
2. 博士号または同等の学位を有すること
3. 大学院レベルでの、質の高い教育実績を有すること
4. 大学院生を指導する能力を有すること
5. 独立した研究プログラムを率いた実績を有すること
6. 外部研究資金を獲得する能力を有すること
7. 特許の取得や起業の能力を有すること
8. 同僚、学生等、周りの人と協調し、有効な関係を維持する能力を有すること
9. 他の研究グループと積極的に交流し協調する意欲を有すること

日本人と外国人の比率は約 50 : 50 を維持する。

沖縄科学技術研究基盤整備機構は、職員の雇用における機会の均等、差別撤廃を掲げており、女性の応募を奨励している。

採用の条件

代表研究者又は若手代表研究者のいずれかの職位で採用する。採用基準は、上記のとおりである。初回の任期は5年であり、任期に対して予算が付与される。これには、代表研究者、研究スタッフの給与、機器及び運営費用が含まれる。研究プログラムはすべて5年ごとに評価が行われ、業績が挙げられている研究については更新される。平成24年に大学院大学へ移行した後の代表研究者及び若手代表研究者の職位については、テニユア・トラックの教授、准教授、助教に移行する予定である。

平成21年度 研究職員採用一覧

役職別	人数
主任研究者	5名
研究員	21名
技術員	10名
計	36名

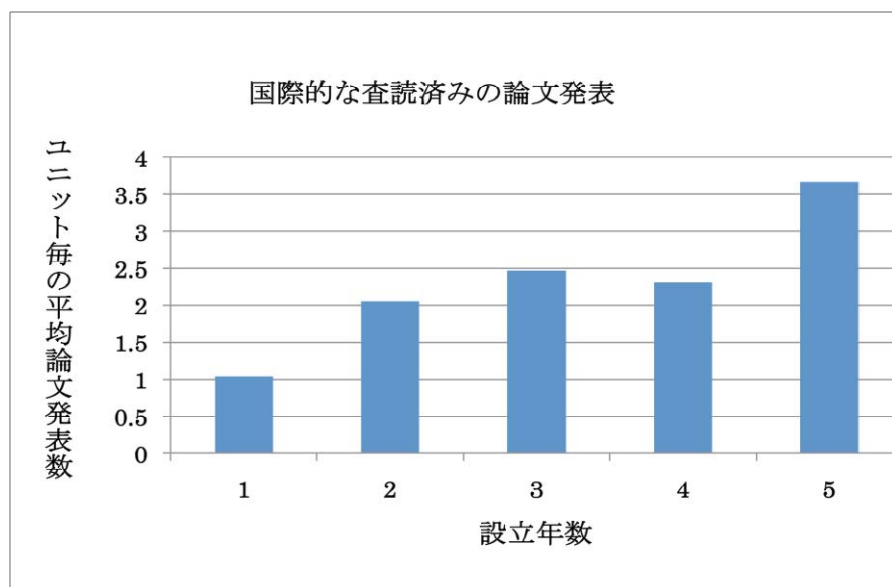
年代別	人数
20代	5名
30代	24名
40代	4名
50代	1名
60代	2名
計	36名

性別	人数
男性	29名
女性	7名
計	36名

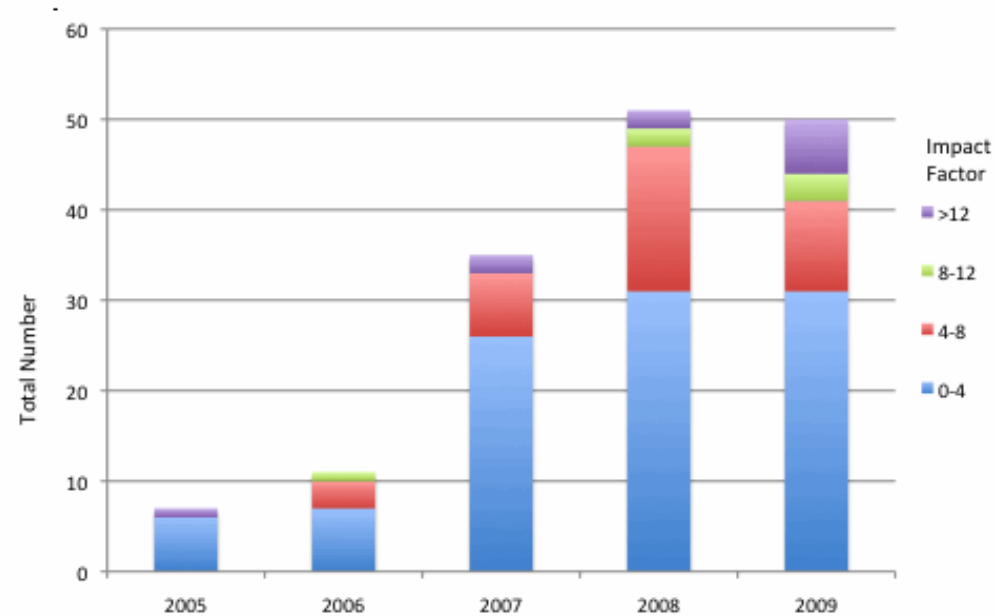
国別	人数
日本	19名
アメリカ	3名
イタリア	2名
スウェーデン	2名
フランス	2名
オーストリア	1名
韓国	1名
中国	1名
ドイツ	1名
ブラジル	1名
ベラルーシ	1名
メキシコ	1名
ロシア	1名
合計	36名

論文発表数等について

在籍年数と研究成果との関係



インパクトファクター別論文の推移



2009年にOISTより発表された論文の掲載誌、インパクトファクター一覧

	学術誌タイトル	インパクトファクター (Web of Science JCR 2008 による)	発表論文数
1	Nature reviews Molecular Cell Biology	35.423	1
2	Nature Biotechnology	22.297	1
3	Lancet Neurology	14.27	1
4	Neuron	14.17	1
5	Trends in Cell Biology	13.385	1
6	Molecular systems biology	12.243	2
7	Genome Research	10.176	1
8	PROCEEDINGS OF THE NATIONAL ACADEMY OF SCIENCES OF THE UNITED STATES OF AMERICA	9.38	2
9	Journal of Neuroscience	7.452	4
10	Journal of Cell Science	6.247	1
11	Cerebral Cortex	5.907	1
12	Plos Computational Biology	5.895	1
13	Journal of Physiology	4.649	2
14	Developmental Biology	4.416	2
15	Physics Today	3.674	1
16	Journal of the Royal Society Interface	3.621	1
17	Neuropharmacology	3.383	1
18	Reviews in the Neurosciences	3.188	1
19	BEHAVIOURAL BRAIN RESEARCH	3.171	2
20	Genes to Cells	3.137	1
21	Journal of neuroscience research	3.086	1
22	Neuroinformatics	2.889	2
23	Journal of Computational Neuroscience	2.75	1
24	Biochemical and biophysical research communications	2.648	1
25	Neuroscience Research	2.473	1

	学術誌タイトル	インパクトファクター (Web of Science JCR 2008 による)	発表論文数
26	Development Growth and Differentiation	2.317	1
27	Journal of Applied Physics	2.201	1
28	Experimental Brain Research	2.195	1
29	Development Genes and Evolution	2.171	1
30	Network-Computation in Neural Systems	1.333	1
31	Zoological Science	1.1	1
32	Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section a- Accelerators Spectrometers Detectors and Associated	1.019	1
33	ANNALES DE L INSTITUT HENRI POINCARÉ-ANALYSE NON LINEAIRE	0.878	1
34	Experimental Animals	0.711	1
35	Acta Crystallographica Section F- Structural Biology and Crystallization Communications	0.606	1
36	Neural Network World	0.395	1
-	BEHAVIORAL AND BRAIN	データなし	1
-	Frontiers in Neuroinformatics	データなし	1